

◆2022年 中学入試算数 講評【駒場東邦】

素直な出題と、今までに見たことのないような思考力を試す面白い問題とを、例年バランスよく出題している同校ですが、本年は受験生にとって厳しい構成でした。

冒頭の小問集合から、1円玉、3円玉、9円玉、27円玉だけのコインを使って、お釣りのもらい方を考えるような、目新しい問題がありました。

問題は非常に面白く興味深いのですが、このような難度が高く時間がかかる問題が序盤にあると、受験生は「難しい問題、解けそうにない問題は後回しにする」というような、小学生の健全な学びとはかけ離れた、小手先の対策を立てざるを得ません。

大問3はパズルのような問題で、こちらも面白いのですが、(3)が相当に時間がかかる問題でした。そのため今回のラインナップの中に入れる問題としては、受験生にとってかなり負荷が高そうです。

大問4の空間認識も、非常に面白く、目新しい問題でした。ただ(1)がひっかけやすく、また難度が高い上に(1)を完璧に正答していないと、続く(2)や(3)を解いても意味がない点で、小学生を選抜する試験の問題としては、受験生の精神負荷的にも、かなり厳しい出題でした。